

て看護婦さんとしやべるのがこれ又楽しみの一つです。

今は、園内リハビリで、世話役をしていますから、忙しい日もあります。これからも頑張りますから、皆様の応援もお願いします。

(担当寮母 玉井とし子)



五グループ
石村 国一さん
昭和6年8月28日生
川之江市川滝出身

朝一番「棟梁おはようございます」と声をかけると「うん、うん」とうなずいて、微笑んでくれます。若い頃は大工の棟梁をしていた国一さんです。今では言葉数こそ少なくなっていますが、歌は大好きなようです。軍歌など唄ってあげるといっしょに声を出して唄ってくれます。リズムをはずすと大きく口を開けて笑っています。

居室でも温厚なオヤジさんと言った所で皆なの人気者です。

好物と言えば季節をとわずミカンやバナナが大好きで、満足そうに食べています。

(担当寮母 相原さつき)

みんなの広場

旅

園生 宇佐美孝治

六月三日、長兄夫婦が車で迎えに来た。母の見舞いを兼ね、徳島方面へ二泊三日の旅行をする事になり、高速道路では今まで体験した事の無いスピードに恐くもあつたが、快い想いをした。

「明日は天気が崩れそうだから、今日の内に瀬戸大橋の見学に行こう。」と決まり、車を飛ばした。流石、近代科学の遂を極めた橋だと此の眼で感じ驚く反面自然環境がどう変化するのかと心に掛るものがあつた。与島に降り休憩した後、兄嫁が見つ付けてくれた国民年金健康保養センター穴吹に向つた。此処には、身障者用の部屋が一室有り都合良く予約出来たそうである。従業員の接待、食事が大変良く、部屋もツインで付き添いの人のベットが有り、洗面所とトイレは車椅子の人が使い易く風呂場は浴槽が少し高く私には多少使いにくかつたが、ゆったりと広く快適であつた。晴れの日も素晴らしい事だろう。

四日の朝、母の居る病院へ行く。母は想っていたよりは元氣そうで、私の躰を摩り手をきつく握って「良く来れたね、躰の方はどう、ホームの方々と仲良くしているか、生活はどうか。」と大変喜んでくれた。母に会つたらいろいろ話をしようと思つていたのに月並みな事しか言えなく後悔している

が、母の貌が見れ私の近影を数枚手渡す事が出来た事は真に良かったと思つている。長兄の住まいに行き父の位牌に押し日頃の沙汰を詫び母の長寿、姉兄の無病息災を願つた。その後小雨が時々降つていたが、大鳴門橋から渦や船の行来を見物し淡路島を縦断し、昨夜と同じセンターに泊る。

五日は天気が回復し屋島の山道を散策、古戦場に想いを馳せた。今度の小旅行の道中他の親戚の所へ寄り近況を語りあつた。車の中の長兄夫婦の愉快な会話、世話、心使い励ましに私は心からうれしく感謝している。

近年何処へ行っても身障者用の設備が出来、外出しやすくなつているので、他の人達ももっと外出に旅行にと、出掛け見聞を広げる事が大切だとつくづく感じた。

野いちご

園生 井上 敏男

土曜日の午後、野いちごでも取りに行くと寮母さん達と日光浴を兼ねて園外散歩に出かけることになつた。

ゴルフ場に入る山沿の道を初夏の風を満喫しながら僕も電動椅子で、ゆっくり登つて行く。寮母さんと雑談しながらふつと道端の赤い実が目についた。いつか子供の頃食べた記憶がある野いちご。甘い香りと懐かしい味が、口の中で浸透している。

草花やヨモギを摘み、鼻の先に近づけるとそれぞれの香りが去り難く、ほんの一瞬间昔に戻つた様であつた。